



「兼業、副業」、「原材料の逼迫」の状況も含め 景況調査(令和3年10~12月期)の結果を報告

長岡市は、長岡市がんばる地域企業基本条例に基づき、長岡商工会議所と共同で、市内事業者を対象として四半期ごとに景況調査を行っています。このたび、兼業、副業の取組状況や、原材料の逼迫による影響も聞き取った令和3年10~12月期の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

長岡市景況調査の結果

1 長岡市景況調査(令和3年10~12月期)

期間：令和4年1月18日(火)~令和4年2月9日(水)

※飲食店等に対する営業時間短縮要請期間(1/21~3/6)

回収率：71.5%(286社/400社) [前回比11%増]

2 結果

① 景気動向

- ・業況、売上高、資金繰り、経常利益とも、前期(7~9月期)と比べて改善。令和4年1~3月は、今期(10~12月期)から悪化の見通し。
- ・経営上の問題点では、「原材料価格・仕入単価の上昇」がトップ。
- ・雇用は5期連続で「不足」が「超過」を上回る。

② 兼業、副業に関する調査

- ・「認めている」と「今後認める予定」を合わせると約54%。

③ 原材料の逼迫に関する調査

- ・事業に影響が及んでいる事業者は約84%。「仕入価格(製造原価)の上昇」が約61%で1位。

④ 行政に求める支援に関する調査

- ・行政、支援機関に求める支援分野は、「補助金申請サポート」が48.7%で1位。
- ・行政が保有する各種データの利用目的は、「マーケティング、市場調査」45.9%。

※詳しくは、別紙「長岡市景況調査報告書(概要版)」をご覧ください。

3 参考調査結果

飲食店等に対する営業時間短縮要請を実施していない令和3年12月にも、新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響や、支援ニーズに関する事業者アンケートを実施。

売上減少は63%で、R2.5調査(86%)より改善しているものの、依然厳しい状況。

期間：令和3年12月1日(水)~令和3年12月28日(火)

回収率：11.7%(434社/3,700社)

問い合わせ：産業支援課

TEL 0258-39-2222